土佐日記 ●阿倍仲麻呂●

あらすじ 次の空欄に適語を入れて、内容を整理しなさい。

第一段	第二段	第三段
十九日。天候が悪く、〔①　　〕を出さない。	二十日。昨日同様、〔①　　〕を出さない。人々は過ぎる日々を数え、嘆き、寝られない。	二十一日の〔②　　〕が海から上がるのを見て、〔③　　〕の故事を思い出す。〔③　　〕は唐土から帰れなかった時に日本では〔④　　〕を詠むと言って、〔④　　〕を詠んだ。それに唐の人も感動したことを思い出して、〔④　　〕を詠んだ。

重要語句 次の語句の意味を答えなさい。

(1) 心もとなし

(2) 唐土

(3) 月の影

(4) そのかみ

重要文法 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 傍線部の助動詞の意味と活用形を答えなさい。

(1) 日の経ぬる数を（七七・4）

(2) 損なはれぬべし（七七・5）

(3) 月出でにけり（七七・6）

(4) 来るべき所（七七・8）

(5) 同じことにやあらむ（七八・4）

	意味	活用形
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

2 傍線部の助詞の種類と意味を答えなさい。意味は、後ろの語群から適当なものをそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

(1) ただ日の経ぬる数を（七七・4）

(2) 二十日の夜の月（七七・6）

ア 主格　イ 同格　ウ 連体修飾格

	種類	意味
(1)		
(2)		

内容理解 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 「二十日の月」（七七・4）は何時頃に出るか答えなさい。

2 「指も損なはれぬべし」（七七・4〜5）とあるが、なぜか説明しなさい。

3 「かうやうなるを見てや」（七七・6〜7）とは、具体的には何を見たと言っているのか説明しなさい。

4 「かの国人」（七七・8）について、どこの国の人か、本文から**二字**で抜き出しなさい。

5 「かかる歌」（七七・11）とは、何を指しているか答えなさい。

6 「振りさけ見れば」（七七・14）とは、どのように見たことを言うのか。次の中から適当なものを**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　振り向いて後ろを見たこと。
イ　はるかに遠く仰ぎ見たこと。
ウ　手を振りかざして見たこと。
エ　振り返り振り返り何度も見たこと。

7 「言ひ知らせければ」（七八・2）とは、具体的にはどうしたというのか説明しなさい。

8 「心をや聞き得たりけむ」（七八・2〜3）について

(1) 「心」とは何のことか答えなさい。

(2) 「聞き得たり」とは「誰が、どうした」というのか説明しなさい。